ねんきんだより Pensions News

国民年金保険料は、納期限内に

４月分から平成31年３月分までの国民年金保険料は、月額16,340円です。保険料は、日本年金機構から送られる納付書により、金融機関・郵便局・コンビニで納めることができます。また、クレジットカードやインターネットなどを利用しての納付や便利でお得な口座振替もあります。

日本年金機構では、国民年金保険料を納付期限までに納めていただけないかたに対して、電話、書面、面談により早期に納めていただくよう案内をおこなっております。

未納のまま放置されると、強制徴収の手続きによって督促を行い、指定された期限までに納付が無い場合は、延滞金が課されるだけではなく、※納付義務のあるかたの財産を差し押さえることがありますので、早めの納付をお願いします。

所得が少ないなど保険料の納付が困難な場合は、免除される制度や猶予される制度がありますので、年金事務所や町窓口へ相談するようお願いします。

※ 納付義務者は被保険者本人、連帯して納付する義務を負う配偶者および世帯主になります。

問合せ 太田年金事務所 ☎４９－３７１６

消費トラブルにご注意！

強力なマグネットボールを誤飲し消化管に穴が！

【事例】

娘が何度も吐いたので受診した。胃腸炎を疑われ薬を飲んだが、嘔吐が止まらなかったため、別の病院でレントゲン検査をすると、腸内に異物が見つかり開腹手術をした。小腸内の３か所が直径３ミリのマグネットボールにより圧迫壊死を起こして穿通（せんつう）しており、37個摘出された。

（当事者：１歳　女児）

ひとこと助言

○複数の磁石を組み合わせていろいろな形にして遊べるマグネットボールによる、幼児の誤飲事故が起きています。マグネットボールのような磁力の強い磁石を複数誤飲すると、胃壁や腸壁を挟んで磁石どうしがくっついてとどまり、消化管に穴を開けてしまうことがあります。

○３歳頃までの子どもは何でも口に含む特徴があります。強力な磁力のマグネットボールの誤飲は大変危険であるため、子どもには遊ばせないようにしましょう。

○誤飲した可能性があると思われる場合には、すぐに医師の診断を受けましょう。

相談は消費生活センターまで　☎８２－７８３０（ナヤミナシ）

水道工事休日当番

月	日	曜日	当番店	電話
6	2	土	山岸管工設備	82-5251
	3	日	小倉設備	82-0261
	9	土	㈲根岸工業	82-0537
	10	日	㈲岩崎設備	82-0027
	16	土	㈲長谷川設備	77-0358
	17	日	土橋設備	82-2982
	23	土	小倉設備	82-0261
	24	日	宇治川管工	77-0057
	30	土	㈲岩崎設備	82-0027
7	1	日	㈲しんえい設備	82-0001
	7	土	土橋設備	82-2982
	8	日	㈲佐山設備	82-2152
	14	土	宇治川管工	77-0057
	15	日	高田管工設備	82-1856
	16	祝	㈲長谷川設備	77-0358

●水道に関する問合せ
群馬東部水道企業団館林支所 ☎８０－３２０１

休日当番医

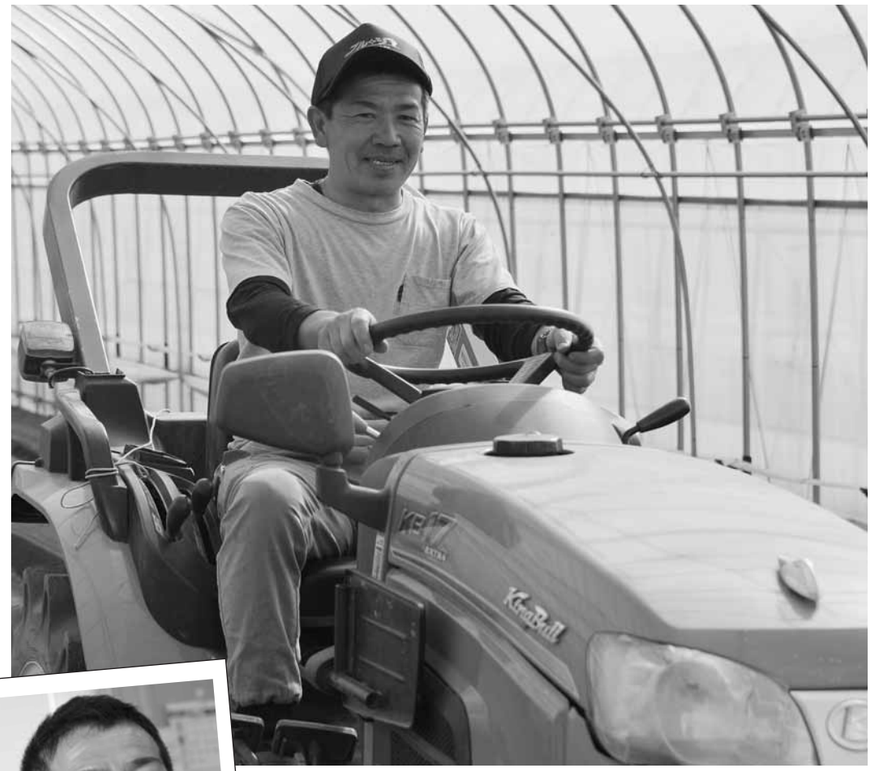
期日	内科系		外科系	耳鼻科
6月3日（日）	さくらクリニック ７２－３８５５	加藤医院 ８９－１０３１	しんじょう整形外科クリニック ５５－３６２３	川田耳鼻咽喉科医院 ７２－３３１４
6月10日（日）	橋田内科クリニック ７２－０００１	小林内科医院 ８８－８２７８	慶友整形外科病院 ７２－６０００	－
6月17日（日）	たけい小児科・アレルギー科※ ７６－２５２５	おうら病院 ８８－５６７８	海宝病院 ７４－０８１１	川村耳鼻咽喉科医院 ７２－１３３７
6月24日（日）	横田胃腸科内科 ７２－４９７０	竹越医院 ８４－３１３７	新橋病院 ７５－３０１１	－
7月1日（日）	こやなぎ小児科※ ８０－２２２０	須田内科医院 ６３－１４１４	小曽根整形外科 ７２－７７０７	今村クリニック ７０－２２２１
7月8日（日）	館林記念病院 ７２－３１５５	金丸内科医院 ８８－３２００	堀井乳腺外科クリニック ５５－２１００	－
7月15日（日）	うえの医院 ７２－３３３０	たなか医院 ６２－２８８１	最上胃腸科外科 ７４－３７６３	板倉耳鼻咽喉科クリニック ８０－４３３３
7月16日（祝）	松井内科医院 ７５－９８８０	藤原医院 ８８－７７９７	慶友整形外科病院 ７２－６０００	－

歯科	
館林邑楽歯科保健医療センター ７３－８８１８ 午前９時～正午・午後１時～３時	◆緊急　公立館林厚生病院　７２－３１４０（内科系・外科系） ◆夜間　夜間急病診療所　７３－２３１３ 午後７時～10時（日、祝日を除く） 内科・小児科（要電話確認）

●診療時間は、午前９時～午後５時
●耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時
●内科系の※は、小児科のみとなります。
●救急テレホンサービス（☎７３－５６９９）：受診可能病院を紹介しています。

設立した農業法人で６次産業化を目指す

農産物の新たな商品化を模索



松本浩幸さん

まつもと　ひろゆき/43歳
大字籾谷在住
趣味　スポーツ（特にバスケットボール

※６次産業
農業などの生産（１次産業）に食品加工（２次産業）と販売（３次産業）を掛け合わせて６次産業。農業経済学者、今村奈良臣が提唱した言葉

レポーター
広報編集委員
原田一平（はらだいっぺい）

農業法人の設立

籾谷を中心に農業を営む松本浩幸さんは、２０１６年６月、仲間二人と共に農業法人を立ち上げました。その数年前から、町内のカット野菜工場向けにキャベツの契約栽培に着手していましたが、畑の面積が大きくなるにつれ、家族経営の限界を感じるようになり、大型機械導入や人材確保のためには、法人化しかないと判断したからです。町内に増えつつある休耕地を有効活用して、地域の役に立ちたいという思いもありました。

早朝５時から夜中の11時まで

会社を立ち上げた一年目は、「畑を借りてほしい」という要望があれば拒まず受け入れていったので、急激に畑の面積が広がりました。多忙を極め、朝５時から夜中の11時までキャベツの定植作業に追われる日々が続きました。二年目になり、全自動の機械を導入し、また、外国人研修生を受け入れるなどして分業が可能になったことで、ようやくゆとりが出て来たそうです。

「この二年間を振り返って痛感するのは、農業者と商業者との違いですね。農協まかせで『売る事』をしてこなかったので、コストがこれくらい掛かるからこれだけ値上げさせてほしいという交渉ができていないです」これからは「商業的な部分も勉強していかなければ」と課題を語ってくれました。

知らなかった世界が刺激に

怒涛のような二年間だった訳ですが、「会社を立ち上げて良かったことは」との質問には「今年43歳になりますが、この年になって、様々な業種の仲間が増えたり、遠方の生産者とのつながりができたことがうれしいです。知らなかった世界を知るのはやはり楽しいですし、刺激になりますね」と答えてくれました。今後は販路拡張は無論、自社の農産物を活用した商品開発や、直売所の設立など、「６次産業化」に意欲を燃やしています。